

## おもな内容

- 昭和63年度決算状況 ..... ②③
- 第19回町民運動会 ..... ④⑤
- 特集 思春期をどう乗り切るか ..... ⑥⑦
- 明るい選挙啓発ポスターの審査 ..... ⑧
- はなしのひろば ..... ⑩⑪
- おしらせ ..... ⑫⑬

発行・岐阜県川辺町 ■ 編集・川辺町役場企画室 ■ 印刷・四橋印刷KK



参加し  
走った・笑った  
**町民運動会**

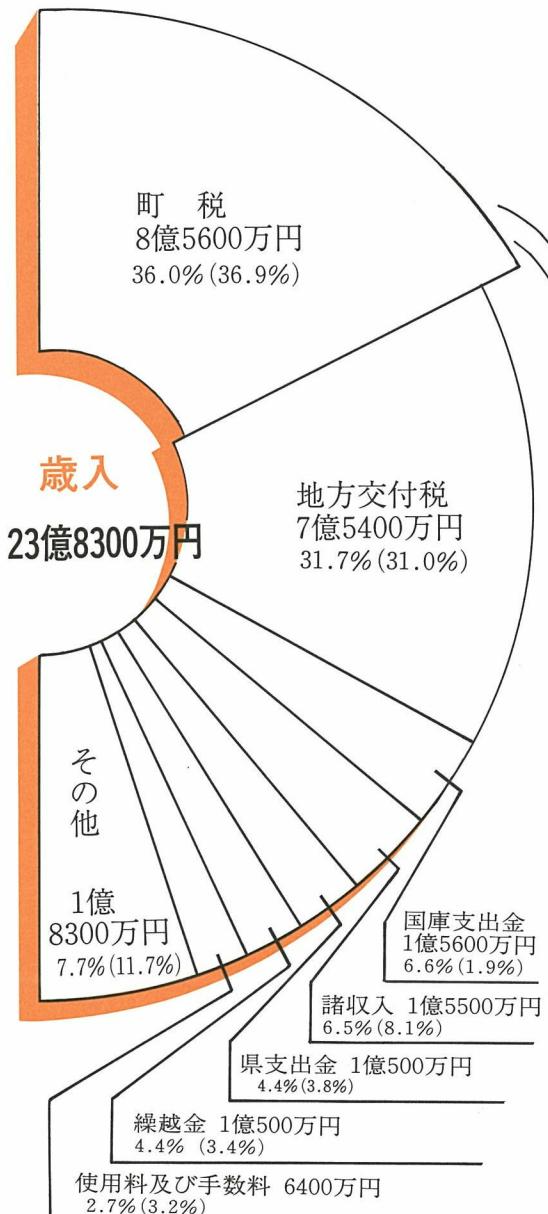
町民運動会が10月22日に川辺中グラウンドで行われました。この日は、さわやかな秋空のもとで多くの人々がつめかけました。各種目はグラウンドいっぱいに繰り広げられ、楽しい一日を過ごしました。地区別得点種目では各地区アイデアをいかした応援をし、なかにはピエロに扮し熱演を演じる場面もありました。

**第9回  
産業文化祭**

11月  
**18日・19日**

# れた税金

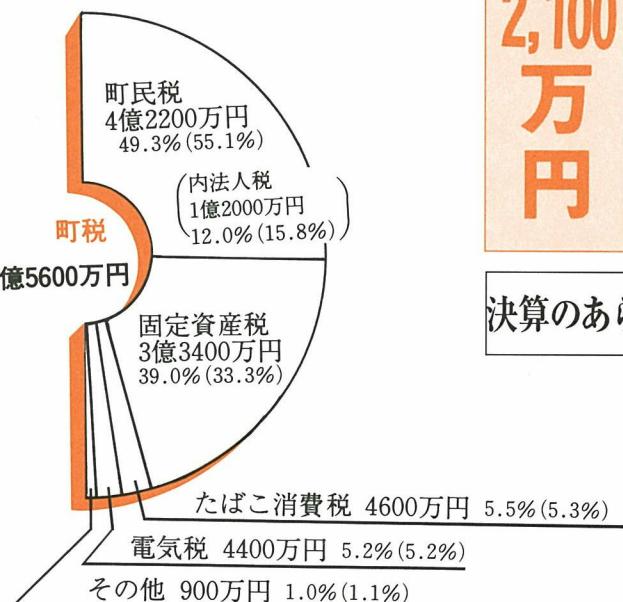
( )内は昨年度構成比率



昭和六十三年度の一般会計、特別会計の決算が、このほど開かれた定例町議会で認定されました。一般会計と三つの特別会計の歳入合計は三十二億九千八百六十六万六千円（前年度比九・三%増）、歳出合計は三十一億二千百二十五万六千円（前年度比七・七%増）となりました。

(本文中の金額は千円未満切り捨て)

生活基盤や、経済基盤の整備、教育施設の充実に取り組み、活力あるまちづくりに全力を注いできました。



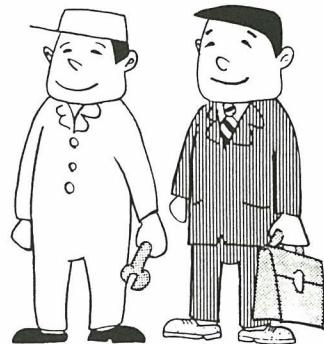
## 決算のあらまし

町民1人あたり  
納めた税金  
**7万9,980円**



一般会計の歳入決算額は、前年度の決算額より一億六千八百十六万円多い二十三億八千三百七十六万円。率にして七・六%の増となりました。歳入全体の伸びのなかで、特筆できる点は、第一保育園整備事業、西小学校大規模改修事業など実施による国庫支出金の七・六%増でした。

歳入の中で最も大きいものは町税の八億五千六百万円。前年度と比べ四・九%の増で、町民一人あたりが負担した町税は約七万九千九百八十円ということになります。



## 63年度決算 一般・特別会計

一般会計の歳出決算規模は二十二億三千二十六万円です。前年度決算額に比べ一億二千六十四万八千円多く五・七%の増。町民一人あたりに使われたお金は約二十万八千百四十四円ということになります。

歳出で特筆できることは、民生費、教育費が大幅に増加し、総務費が大幅に減少、前年度のトップから三位に入れかわったことです。民生費では第一保育園整備事業費、教育費では西小学校改築事業の実施が大きな要因です。また、総務費では前年度の庁舎建設費などがなくなり、大幅減となりました。

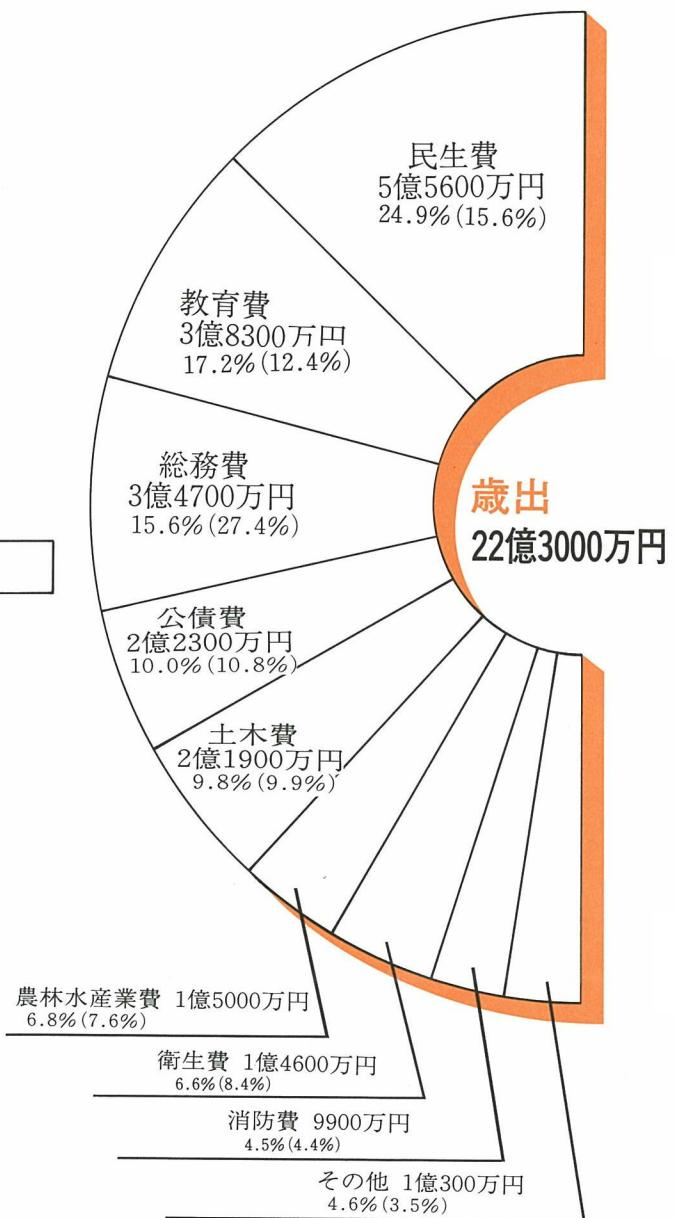
### 町民1人あたりの使った費用 20万8,144円



歳

出

# こう使わ



### 学校給食共同調理場

決算額は、歳入が四億一千三百九十九万二千円、歳出が四億八百四十九万五千円で、前年度に対する伸び率は、歳入で二四・三%、歳出で二三・〇%増でした。

歳入が五千二百五十八万円、歳出が五千二百五十四万五千円でした。

### 老人保健

決算額は、歳入が四億一千三百九十九万二千円、歳出が四億八百四十九万五千円で、前年度に対する伸び率は、歳入で二四・三%、歳出で二三・〇%増でした。

決算額は、歳入が四億四千八百二十八万五千円、歳出が四億二千九百九十六万八千円でした。前年度に対する伸び率は、歳入が一一・三%、歳出が三・九%でした。

歳入のうち国民保険税は、一億七千九百三十一万三千円で、前年度に比べて八十九万五千円の増、歳入総額の四〇・〇%を占めています。歳出では、保険給付費に三億一千四百二万四千円、老人保健拠出金に八千七百十二万九千円などを支出しました。

### 特別会計

#### 国民健康保険事業

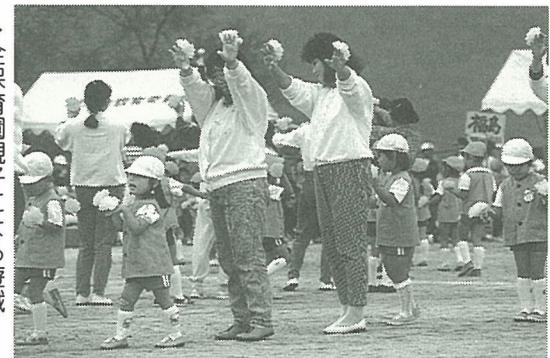
決算額は、歳入が四億四千八百二十八万五千円、歳出が四億二千九百九十六万八千円でした。

# 秋空に歓声 汗さわやかに

## 第19回町民運動会

第十九回町民運動会が十月二十一日に川辺中グラウンドで開かれました。

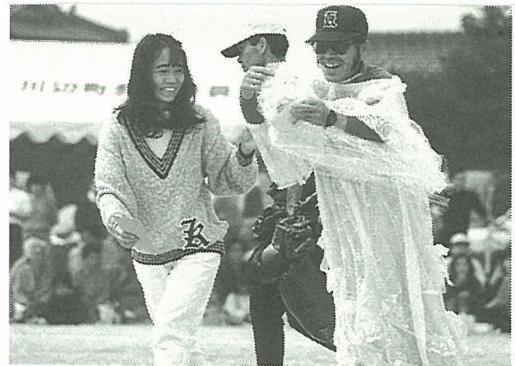
この日は少しきもり空、風もなく、暑くも寒くもない絶好の運動会日和。地区対抗リレーなどの地区得点種目では、比久見地区が五年連続の優勝を成し遂げました。準優勝は上川辺地区、三位は下麻生地区が入りました。



▶まだまだ若いもんには  
負けんぞ!



ウエディングドレスが  
にあります？



◀あつしだで、



◀アンパンマンも登場



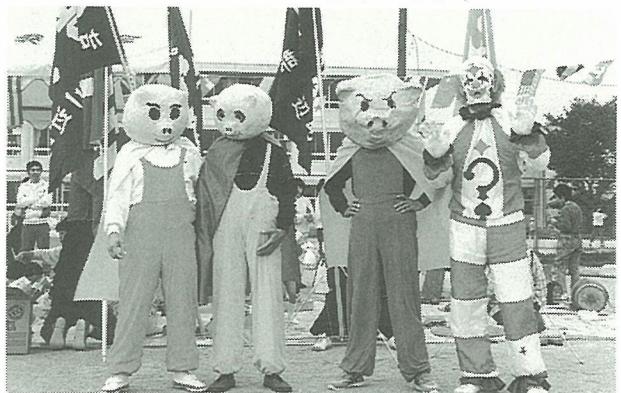
◀あわわよいうなぎのつかみどり



◀上川辺区は対抗リレーで優勝

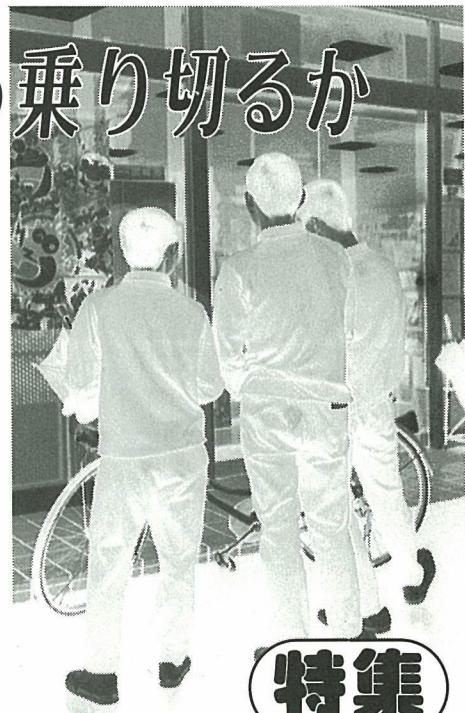


▼ピエロやブタマンも登場（上川辺区）



中学生の

# 思春期をめぐる問題をどう乗り切るか



特集

思春期は、子育ての難しい時期であるといわれます。なるほど、いじめ、登校拒否、校内暴力、家庭内暴力と、問題行動の大半がこの思春期の子供たちによるものです。

厚生省の行った「児童環境調査（昭和六十一年）」を見ても、中学三年生の子供を持つ親の四人に三人が「自分の子供についての不安・悩みがある」と答えています。

この時期は、子供から大人への移行期です。子供は家庭や学校、地域社会で経験するさまざまな出来事に、ときには悩み、挫折感を味わうことでしょう。親もまた、心理的に不安定な状況にいるわが子との接し方に戸惑いを感じことが多いのではないでしょうか。だからといって、この時期の子育てを、なりゆき任せにするのは子供のためにもよくありません。

中学生のお子さんをお持ちのご家族、やがて中学生になるお子さんのいるご家庭の皆さん、思春期をめぐるさまざまな問題をどう乗り切るか——進路選択、友人関係、性の発達、などについて一緒に考えてみましょう。

親の庇護のもとにあら思春期の子供たちも、やがては自分の意思で行動し、責任を負って、社会活動をしていくことになります。その意味でも、進路選択は、子供が自らの意思で、人生の方向づけを行う初めての経験であるかもしれません。

とはいって、まだ十代前半の子供たちのことです。進路については、はつきりとした意思のない子もいます。自分自身の適性や長所、短所を客観的に見ることで、できない子供も少なくありません。



## 2 子供の意思で方向づけを 進路選択

知識が増え、物事を論理的に考へる力もどんどん強くなっています。友人関係が広がり、行動も多様になっていきます。

▼大人へのワン・ステップ 知識が増え、物事を論理的に考へる力もどんどん強くなっています。友人関係が広がり、行動も多様になっていきます。

親の手元から歩き出し、の望ましい態度と見るべきでしょう。親の手元から歩き出し、親と違った考えを持ち始めたことの表れで、一人前の大人になるためのワン・ステップなのです。

親子の意見は食い違いながらも、子供は親の態度を通して大人の考え方を徐々に身につけていくことでしょう。

## 1 身体と心の発達のアンバランス

思春期の特徴

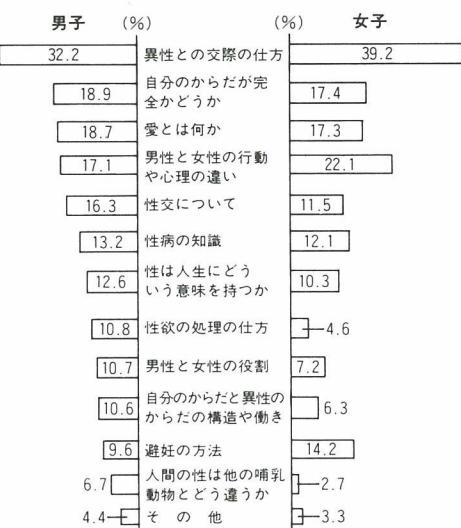
▼干渉や放任は逆効果 体は大人でも、心はまだまだ子供のところもある——身体の発達と心の発達のアンバランスに子供は不安定な状況に陥りやすいのです。親が子供の考え方や行動にはがゆい思いをするものこのころです。しかし、必

要以上に干渉したり、放任したりすることは、かえって逆効果です。子供の意見に耳を傾け、一方で、親としての考えを子供に伝えてやることが大切なのです。

して、目的意識と生きがいをもつて新しい道に進めるよう、親は子供の精神的な支えになつてほしいのです。

また、進路選択にあたつては、男の子向き、女の子向きということにとらわれず、子供の個性を重視した考え方方が親に望まれるのです。

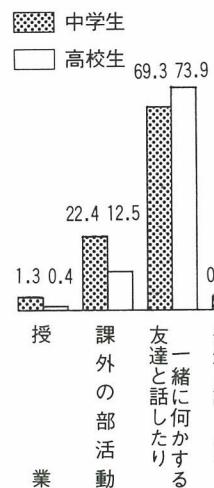
## 現在、性について一番知りたいこと（中学生）



（「青少年の性行動調査」昭和62年 日本国教育協会）

## ●学校で何が一番楽しいか●

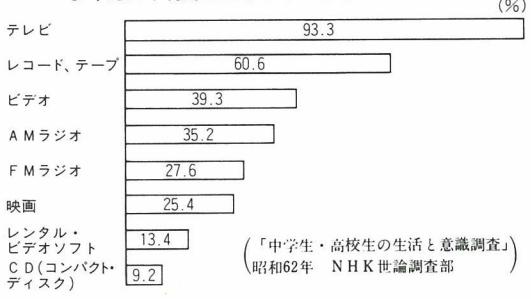
(学校が「楽しい」、「まあ楽しい」と答えた子供に)



## &lt;資料&gt;

「中学生・高校生の生活と意識調査」：昭和62年 NHK世論調査部

## よく見たり利用したりしているもの（中学生）(%)



（「中学生・高校生の生活と意識調査」昭和62年 NHK世論調査部）

## 3

## 円滑な人間関係を築く基礎固め

友人関係

学校生活で何が一番楽しいかと聞くと、多くの中学生が友達との遊びや会話を答えます。友達づきあいが楽しいか楽しくないかは、毎日の生活の充実感を大きく左右します。

しかし、最近の子供たちの友人関係には、次のような傾向が見られるといわれています。

- 友人をつくるのが苦手な子が増えている

●表面的な会話を交わしているだけの、浅いつきあい方が目立つ

●限られた少人数の友人しか持たない子が多い

## ▼友達は“メディアやメカ”

これらの原因として考えられるのは、塾やおけいこごとに通う子供が増え、友人同士の交流の機会や時間が減ったこと、テレビ、漫画、テレビゲーム、ラ

ジカセなどの“メディアやメカ”が身近にあり、それなりに楽しい時を過ごせる——といったことがようです。

このような“メディアやメカ”は、生身の友と異なって、わがままを言つたり、さからつたりしません。人間関係のわざわざに無縁のまま、友人のいな寂しさもまぎれてしまうのです。

しかし、このような生活を何年も続いていると、今度は本当に人間の友を持とうという気持ちが薄らいでしまいます。その

結果、他人とコミュニケーションをとりながら、意思の疎通を図り、問題を解決していく能力に欠ける大人になってしまわないともかぎりません。

## ▼子供の友人づきあいを大切に

子供時代の友人づきあいは、その子が、一生を通じて人間関係を円滑に保っていくための、基礎固めであるといえるでしょう。親は「子供が友達と遊ぶこと」を、家庭での勉強と同じくらいに、あるいはそれ以上に大切に扱ってほしいのです。

## 性の発達

## 4 性意識の変化に対応を

思春期の特徴の一つに性の発達があります。身体面での性の発達とともに、心理面でも恋愛や性への関心が急速に高まり始めます。子供たち特に男の子では性欲と理性との葛藤に悩んだり、自分の理性の弱さに自己嫌悪に陥ったりすることがあります。

一方、世の中の性の解放はますます進み、性の情報の氾濫やポルノをはじめとする“性”

産業の隆盛といった側面があります。このような風潮に流れ、現在の子供たちの性意識は、親の時代に比べてずっと変化しているようです。

## ▼「自ら進んで」が六割も

また、最近は女子による性的逸脱行動がクローズ・アップされています。警察庁の資料によると、性の逸脱行動で補導された女子中学生の動機は「自ら進んで」が全体の六割近くを占め一番多く、

## ▼大人は子供の良いモデルに

性教育の話となると「寝た子を起こすな」式の反応を示す親が多いようですが、性意識が変化し、性的成熟も早くなっています。

親や大人は、性の適切な方が、日常生活の中でごく自然に子供に伝えていくこと、大人自らが、性に関して子供の良いモデルとなることなどが求められるのです。また、異性に対する思いやりと、お互いを尊重し合う気持ちが子供に身につくよう、折にふれて話してやることも大切です。

## 明るい選挙啓発ボスターの審査

### 特選に三十七点、入選は百一点

応募総数は八百十一点

小学三年生から中学三年生まで  
の児童・生徒を対象に、夏休み中に募集した「明るい選挙啓発ボスター」の審査が、このほど役場で町選舉管理委員や美術担当の先生らによつて行われ、特選三十七点（小学生二十点、中学生十七点）、入選百一点（小学生五十九点、中学生四十二点）が選ばれました。出品点数は、

小学生が三百六十六点、中学生が四百四十五点でした。

**【特選】** ▷ 小学三年（西小） 横田満、木沢麻帆、小林さくら

（西小）岩田久範、栗山葉子、上野美香、吉川友里（北小）長谷川義貴 ▷ 中学一年 松岡秀高、加藤直子、福井秀雄、高橋宏、西村美地子、天池さとみ

△ 中学二年 横田めぐみ、湯浅優子、赤坂美香、赤塚仁志、小村由香、山田美佳 ▷ 中学三年 神田真由美、小林美香、桜井美智子、西垣八恵、黒岩伸全

（西小）土屋裕磨、坪内悠記、山口美恵子、平岡ゆかり、村瀬悠隆（東小）牧田大作、交告恵依子、曾我葵、曾我昌紀、島田陽子、赤坂実香、小菅誠（北小）知子（東小）古田奈々、牧田梨江、横山朋子、井上奈美、山田西裕子 ▷ 同五年（西小）飯田

同四年（西小）平岡圭司、栗山美緒（東小）中島亜由美、山田祐規子、小森豊之、千賀智子（北小）多田好美、西村泰広、後藤司郎、佐伯達弥、富松智洋、坪内ひとみ、平岡妃巳香、△ 同六年



休みになります

## 第2・4土曜日

寝たばこ、たばこの投げ捨ては厳禁

たばこ

前号に引きつづきお知らせします。

### 平成2年4月から役場の機関

平成2年4月から、町の機関は毎月第二・四土曜日を閉鎖させていただきます。ただし、次の機関は今までどおりです。  
▽中央公民館、海洋センター、ください。

- ①たばこは決めた場所以外では吸わないようにする。
- ②灰皿は大きめのものを使用し、常に水を入れておく。
- ③歩行中や作業中にくわえたばこはしない。
- ④火のついたたばこを放置しない。その場を離れるときは完全に火を消してから。



各小学校、中学校、第一保育園、第二保育園

なお、不明の点は、利用される機関にお確かめの上お出かけ

年（西小）木沢基英、村田典昭、小山弘行（東小）浅野童子、古田泉、小林加奈、中島真美、馬場淳子、神田修次、岡本美香、横山志保美（北小）坪内由美、古川裕美、中屋由香、中村佳史、明、所理妙、井戸裕子、佐伯美恵子、渡辺良道、加藤千春、小川理恵、小川毅、武市綾子、大谷智春、白村健司、坪内宏江、▽同二年 森靖絵、武市里美、有本吏佐、有本あすさ、武市一宏、山田多美恵、加納夏美、渡辺智子、寺田江見、小椋美奈子、遠藤智志、長谷川真紀、高木奈穂子、入合真弓、▽同三年 後藤美智子、奥村悦郎、道家律子、杉山尚久、問山あや、大沢知恵、岩田奈巳、酒井小百合、河合徹、肥田知与、天池美穂、神谷有紀、中島純子、井戸みづほ、宮本礼二



12かわ

# かわの子のくらし

## あいさつ運動

だれに返事をするときも  
「はい・いいえ」  
とはっきり言える。



## せいそう活動

家の中、家の周りを美しくして  
お正月を迎えよう。

- 忙しい年の暮れをみんなが仕事を分担して大掃除。

12月17日(日曜日)は

## 家庭の日

年末の我が家でのクリーン作戦。

進んで仕事を受け持ちがんばろう。



## じどうしゃに 気をつけよう



標語

かけあうあいさつ 心のかけ橋

川辺西小学校1年 紅谷奈江子

あいさつで 心が通う町づくり

川辺西小学校3年 桑田かおり



12月26日(火)は  
2学期終業式

## がんばったこと

川辺西小二年 龜山大介

ぼくがいちばん心にのこっている  
のは、クリーンさんせんのことです。  
きたないごみを手でとって、いや  
だなあとおもつたけれど、「えい、やるしかない」

といって、ごみをひろいました。でも、どぶに手をいたのは、きたなかつたよ。もうやめようかな、みんなにおこられるしなあとおもつてやついたら、できました。

どぶのごみをとるとき、みんなが「はやくやれよ。きたなぐから、はやくやれ」

といったから、「まつちやつたよ。みんなも手にいっぽいごみをもつていました。

やつとおわって、ほんとうにすつきりました。

## 生き返った本達

西小母親委員会

「えー、本当にバラバラにしてもいいの?」「ぼく去年もやつたから、よく知ってるよ。西小図書室の本の修理の日です。天理教の方のご指導のもと、児童も加わり、六十八冊の本を生き返らせる事が出来ました。一言で修理といっても、破れた所をただテープや糊でくっつけるのではなく、表紙も中身も全てバラバラにして、最初から本を作り直していくという、それはもう専門的で細かい作業でした。

本棚の隅に追いやられ、見向きもされずに死にかけていた本が、

新しい生命を吹込まれ、ピカピカ輝いているのを見ると、まるで昨日まで病気だった子供が元気を取り戻して、ニコニコ笑っている様に見えた程、すがすがしく思えました。

この日参加してくれた子は勿論わかつてくれたでしょう。そしてこの生き返った本を手にした子供の一人でも多くに気付いてほしいのです。物を大切にする心に。



# はなしのひろば

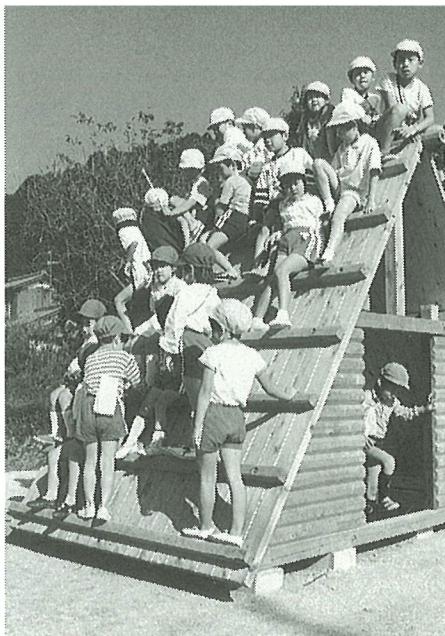
## カクテルを味わう

### 中央公民館学級合同講座

(下吉田)さんの寄贈によるもので、九月末に完成、子どもたちの人気的になっています。木で組み立てられたこの遊具は、屋根の部分に子どもたちが登れるようになっています。

## ログハウス遊具場

上米田保育園



十月二十四日、中央公民館で福寿大学、婦人学級、乳幼児学級など学級合同の講座が行われました。

講座の内容は、お酒の話。日本人はお酒というと、日本酒、ビール、ウイスキーが主流ですが、主婦の方を含め楽しむお酒となると、欧米に比べまだまだというところ。日常の生活の中にお酒を楽しむことを取り入れてみてはとの、提言でした。

講師は、岐阜新聞のシリーズでお酒を紹介していた三浦島太郎(みうらしまたろう)さん。

岐阜市内で、「一番館」というバーを経営し、現在ウイスキー会社の講師となっています。ミ

このほど、上米田保育園にログハウスでできた遊具が登場しました。

一帯が見渡せ、比久見をはじめ、川辺町が一望できました。から見た風景は辺り一帯が見渡せ、比久見をはじめ、川辺町が一望できました。

この遊具は佐伯泉(下吉田)さんの寄贈によるもので、九月末に完成、子どもたちの人気的になっています。木で組み立てられたこの遊具は、屋根の部分に子どもたちが登れるようになっています。

上米田保育園

ました。

上川辺阿夫志奈神社内で

阿夫志奈神社の境内の北東に墓跡らしきものが

あり、草の陰にうもれていました。

史資料編上巻 第一部の三、軍記物の肥田軍記に登場する人物で、当時二十八歳。金山(兼山)城主森武藏守の急襲にあつた父玄蕃を助けるため馬串山(美濃加茂市)から駆けつけ、森軍の背後から攻め立てました。その

長寿丸の墓と言われていました。文献及び墓の造りからほぼ間違いないと考えられ、その保存のため上川辺区の阿夫志奈神社調査委員会(佐伯弘行代表)のメンバーで柵を作りました。

この長寿丸は「川辺町」作成した。対岸のこの地に葬ったとされる。この記述は、町史の他に、広報六六号(昭和四十九年一月発行)から七九号にかけてシリーズで紹介された「米田之庄郷土物語」にも詳しく載っています。



## 長寿丸の墓を保存

上川辺

## いもほりに歓声

第一保育園

第一保育園で十月二十四日、いもほりが行われ、収穫を楽しみました。

これは先の五月、下川辺の木下昭三さんの畑に、園児一人あたり一本の苗を植えたサツマイモで、この日園児全員で、収穫しました。

一人あたり三~四個のでき具合でした。

土の中から次々に出てくるイモに、子どもたちは驚き、歓声をあげていました。

イモは二個ずつ、園児たちの家に持ち帰り、残りはおやつでおいしく食べました。



# 元気です



奥村かずやくん(4歳7か月) 下川辺ともひろくん(2歳3か月)

(幸司さん・貴代美さん 長男・二男)

【作り方】①れんこんは皮をむき、二カップの水に酢大さじ一杯を合わせた酢水に浸し  
②肉一〇〇グラム、生姜少々、にんにく一粒、赤とうがらし一本、ごま油大さじ二、だし汁二カップ、さとう大さじ四、しょゆ大さじ四、みりん大さじ三、酒大さじ一  
③れんこんは皮をむき、二カップの水に酢大さじ一杯を合わせた酢水に浸し  
④れんこんは皮をむき、二カップの水に酢大さじ一杯を合わせた酢水に浸し

## 今月の料理



岩井栄養士

れんこんの田舎煮

てアカ止めし、一口大の乱切りにし、二～三分ゆでる。②しいたけは石づきを取り四分の一に切り、鶏肉は一セン角に

生姜を入れて炒め、さらに鶏肉、しいたけ、れんこんを加えて炒める。④だし汁とその他の調味料を入れ、落としぶたをして、中火で煮込む。⑤煮汁が四分の一くらいまで煮つまつたら、さらにしょゆ大さじ一杯を加え、赤とうがらしも加えて火を止める。

◎最後に加える大さじ一杯のしょゆは、風味づけの為に、火を止める直前に入れます。

## 子どもの心⑥

### 夢中になること

今年の運動会、僕は赤の応援団長になった。一番困ったのは応援の振り付けだった。うまく合わせようと思っても、手が動かない。でもみんなで工夫してつくり上げた。運動会の前半はとても緊張したので、白組に負けたと思っていたら一点差で赤の応援が勝てた。「ヤッター」思わず飛び上ってしまった。みんなも大よろこびだった。負けた白組まで拍手してくれたので

木下昌樹) 拍手に手を腫らし大声で喉を枯らし、無我夢中で目を輝かして演技する応援合戦こそ、教師と子どもが一体になり創り上げた最高の活動に思える。「どこにこんなエネルギーがあるのか」と不思議に思うほど、すさまじいものでもあった。大勢が一つになり燃え、夢中な姿は他の学習では見られない。「勝つ」というはつきりした目標に向かい自分達でつくり上げ

うれしかった。後半の応援は、自分がついて、うまくいった、自信がついて、うまくいった、又、赤の勝ちだった。二度も勝つと思わなかつたので「白組に悪いな」と思った。今年は最高の運動会だった。……(六年・六年・六年)

今の子ども達に夢中になれる何かを与えていきたい。(井戸) ていくことにその要因があるよ うである。



川辺町ソフトボール協会主催の第十一回中日旗争奪壮年男子ソフトボール大会が、十月一日、八日の二日間、ナイターで行われました。

この大会には九チームが参加し熱戦を繰り広げました。結果は次のとおりです。

**優勝** 下麻生ソフトクラブ  
**準優勝** 鹿塩クラブ

**三位** 西柄井、川辺キングス  
(準決勝)  
鹿塩 12-17 西柄井  
下麻生 19-8 川辺キングス  
(決勝)  
下麻生 10-5 鹿塩



## 下麻生ソフトクラブ優勝 中日旗壮年男子ソフト



ります。ご希望の方は、郵便番号、住所、氏名を明記し、切手二百五十円(送料)を同封の上、岐阜県民健康づくり推進協議会に申し込みください。

役割と責任を自覚し、広い視野と豊かな情操を培い、非行に走ることなく、心身ともに健やかに成長することは、親をはじめ社会全体の願いです。

そこで、十一月を「全国青少年健全育成強調月間」と定め、

年健全育成強調月間」と定め、

国や県は市町村・関係団体などと一緒になり、青少年の健全育成に取り組むこととしています。特に県では、「伸ばそう未だんのもとに、①青少年の社会

来をひらく青少年」のスローガンのものに、②地域における青少年の育

成③健全な家庭づくり④学校における生徒指導の充実に重点を置き、青少年の健全育成の推進願いします。

を図っています。  
皆さんのご協力とご理解をお

願いします。

## 保健だより



### 秋を歩きましょう

(佐伯)

ー出 生(住所・出生児・父親・

おめでた おくやみ  
※住民票を基準に掲載

(9月中の届出)

ー結 婚

石神 水野 恵造

志智左奈巳

上川辺 山田

石神 田原 雄太

中川辺 天池 真知子

安田 大介

西橋井 岩田 典子

下麻生 佐伯 亮治

下麻生 村瀬 勇人

西橋井 岩田 典子

減量ウォーク健康街道が県下九十九か所、即ち各市町村一か所ずつに設置されていますがご存知でしょうか。これは岐阜県健康づくり推進協議会が最近注目している自然浴とウォーキングで健康の保持増進をはかるうと九月からはじまったものです。

これは、来年の二月末まで

した。現地まで歩いて来た人、自転車に乘らず引張つて来た人、自動車の人と様々でしたが、歩こうという意欲、熱気はムンムンとしていました。全員万歩計をつけて歩いたところ、個人差はありました

が、遊歩道から球場一周で平均二、七〇〇歩、所要時間約二十分でした。これでは物足りなくて歩いてきたと言われます。

そこで実行にうつされたのが西柄井のAさん、友達と山県郡の方まで出かけ大変楽しく歩いてきたと言われます。

### 第9回産業文化祭

11月18日(土)・19日(日)

▶場 所 庁舎前駐車場、中央公民館、川辺中体育館、保健センター

▶駐車場 川辺中グラウンド

▶イベント ミニ商店街、芸能大会  
作品展、バザーほか

### 県立図書館ひばり号

12月1日(金)

▶場所 下麻生公民館  
▶時間 午後1時から3時

移動図書館です

## わたしたちの作品

伸び放題	秋時雨	世を捨てた顔月と住む
はきはき	夕月	失恋の顎哀れなり
壇家総出で筹持つ	願	菊に貸す傘立寂びる
扇の的射る舟揺れる	酒杯の席へ情添える	壇家総出で筹持つ
走る列車の中歩く	走る列車の中歩く	扇の的射る舟揺れる
灯す手暫し休ませる	小欠伸を袂で隠す	酒杯の席へ情添える
糞干す筵目を廻す	糞干す筵目を廻す	走る列車の中歩く
井戸ポンプ喘息起す	糞干す筵目を廻す	灯す手暫し休ませる
十九の薔薇を知る	糞干す筵目を廻す	糞干す筵目を廻す

杉所丹村西前岡井加黒馬馬山  
山羽瀬村島部戸藤岩場場口南  
香穂美深風久淡諷積麻清路天  
美香鎗代外美水子山美流石坊

歯にしめる青き林檎の甘酢さに清しきことのふと甦よみがへえる  
飛水峠綸子のさざなみ織りなして煌きらめくき流る秋立ちぬ今日  
重なつて倒れしひまわりその下にサルビア燃ゆる風過ぎし朝  
聊かな不安を友と語りつつぶり返り去る浜岡原發  
ひつそりと世の襞ひだに住むも伸びのびと已れの部屋に生を楽しむ  
胸はずませ澄める瞳の園児等と共に遊戯す祖父母參觀日  
山合いの川辺に道と鉄路ありてひそと人住む木曽谷の村  
剽輕ひじきんにとび出す切符は地下鉄の人それぞれの生活をもちぬ  
したたかに雨に打たれつ揺れもせで白きブランコ残して暮れぬ  
用水路の夏草刈りて湯浴ゆあつせし夫は夕べも草の匂いす  
峠の土手花群ともや曼珠沙華その空間は壁画となりぬ  
国体えと若き情熱鬪魂に燃えて川面を刻むオールは  
雨乞あめこいつ仰ぐ西空今日もまたやけたる太陽まだ山の端にあり

加山垣山長岩紅赤松肥遠栗横  
藤田下田瀬井谷坂岡田藤山山  
好志博君宗千富久節正米寿  
子ま子子子代茂子美子枝子子



式内社と帳内社　(1)

「延喜式」という書物があります。それには、平安時代の儀式や諸制度、全国から納めた貢物、そのほか名産品などが記録されています。この書物は、延喜七年（九〇七）から延長五年（九二七）の、二十年間にわたって編集された、五十巻にも及ぶ大書となっています。

延喜式には、神社の一覧表ともいえる社名が記載されて

いますが、これがいわゆる「式内社」の神名帳です。これらの神社は、格式によつて区別されていますが、官幣（かんぺい）と国幣（こくへい）の二種類がありました。その区分は、多分に地理的觀点からなされていました。関西地域の五ヶ国はすべて官幣、それ以外は、ほとんど国幣となつていたのです。

美濃国には当時、官幣社は存在せず、国幣社が三十九社ありました。そのうち、加茂郡には次の九社、川辺町は二社となつています。

延喜式の神名帳のほかには、美濃国神名帳があります。「帳内社」といわれる神名帳です。延喜式よりあとに作成されたが、これには、加茂郡として二十九社が記載されていて、延喜式の式内社九社も含まれています。その所在は、次の地区であるといわれています。

祝部明神とあり、旧名は加茂明神。坂祝町酒倉にあります。

大山神社

大山明神とあり、旧名は加茂神社、富加町大山にある神社がこれであるといわれています。

太部神社

太部明神とあり、諸説がありますが、川辺町比久見とさられています。生部郷の産土神であつたともいわれています。

次号に続く（木下）

▽第十九回町民運動会も、無事終了しました。今年の運動会は例年に比べ、町民のみなさんの参加が多かつたようを感じました。なかには、今年はじめて運動会に参加したという声も聞かれました。

▽中央公民館で開かれた酒の話の三浦島太郎さんは、ミスター・マリックとも交流があるというマジシャンでもあり、実体がつかみにくいという感じの魅力ある人でした。『レモン・ハート』に出てくる主人公そのものといつた感じでした。

# 川辺の歴史

15

県主神社  
大山神社

ています。江戸時代には加賀  
大明神と称していましたが、  
明治時代に改められました。

廣報雜記